

第5次総合計画 前期基本計画 施策評価シート

施策名	地域特性を生かした新たな産業基盤の創出		施策番号	23
主担当部署	部名	部長名		
	都市部市街地整備担当	高尾 知幸		

計 画 (Plan)				
総合計画体系	活力	まちづくり目標	3	個性豊かで活力あるまち
		基本政策	7	都市の活力を生み出す魅力あるまちづくり
		施策展開の方向	1	都市の骨格を支えるまちをつくる
施策展開の方向 (内容)	新東名高速道路や国道246号バイパスの開通に伴う広域的な交通利便性の向上や充実した医療環境など、地域の特性、優位性を生かした産業基盤の整備や積極的な企業誘致を進め、新たな都市の活力を創造するまちをつくります。 伊勢原駅北口周辺をはじめとする本市の玄関口にふさわしい中心市街地の整備や商店街の活性化など、民間活力を生かした魅力あるまちをつくります。			
施策内容	新東名高速道路インターチェンジ周辺、都市計画道路横浜伊勢原線沿道地域では、豊かな自然環境や住環境との調和を図りながら新たな産業用地を創出し、計画的な市街地の拡大を進めます。併せて、優れた医療環境や広域交通のアクセス性など、地域の優位性を生かした積極的な企業誘致に取り組み、進出企業のニーズをとらえた計画的な産業集積を促進します。			
目標とする状態	地域を大切にしている企業が集積し、雇用機会が創出され、新たな市街地の交流が始まっています。			
目標の達成度を測る指標	【指標名】	区分		
		【当初値】	【目標値】	
	産業系市街化区域の拡大面積	—	22ha	
	新たな産業用地における企業進出の割合	0%	100%	
施策を構成する「主な事業」	主な事業	事業の概要		
	東部第二土地区画整理推進事業	主要地方道横浜伊勢原線沿道において、歌川産業スクエアに続く新たな産業用地を創出します。		
	北インター周辺地区まちづくり推進事業	伊勢原北インターチェンジ開設に併せ、豊かな自然環境や集落環境と調和した新たな産業用地を創出します。		

施策実施 (D)

指標の達成状況	【指標名】	当初値	目標値	目標の方向	実績・見込(下段：達成率)			
					H25	H26	H27	H29見込
	産業系市街化区域の拡大面積	—	22ha	↗	0ha 0%	22ha 100%	22ha 100.0%	22ha 100.0%
新たな産業用地における企業進出の割合	0%	100%	↗	0% 0%	0% 0%	0% 0%	100.0% 100.0%	

コスト	年度	H25年度 実績額		H26年度 実績額		H27年度 実績額		H28年度 予算額		H29年度 計画額	
	事業費合計(a)	2,526	千円	3,323	千円	5,120	千円	120,676	千円	97,300	千円
	人件費合計(b)	22,680	千円	23,760	千円	23,490	千円	23,490	千円	23,490	千円
	トータルコスト(a)+(b)	25,206	千円	27,083	千円	28,610	千円	144,166	千円	120,790	千円

市民意識	項目		平成27年度		満足度と重要度の相関図				その他の市民ニーズ、意見			
	満足度	施策の値	0.37						A 優先的課題 B ニーズ充足 C 現状維持 D 選択的課題		雇用機会の増大及び財源確保のため、企業誘致に取り組んで欲しい。	
		平均値	0.32									
	重要度	施策の値	1.05									
平均値		1.20										

■施策を構成する「主な事業」の目標達成状況

NO.	事業番号	事業名	事業指標	当初値	H27年度目標	H27年度実績	目標達成状況	所属名
1	23-101	東部第二土地区画整理推進事業	土地区画整理事業の推進	事業化推進策の取組み	組合設立・工事着手	組合施行による事業化	◎	新産業拠点整備課
2	23-102	北インター周辺地区まちづくり推進事業	土地利用計画の確定	事業手法の検討	都市計画手続き	事業手法等の決定に向けた準備	◎	新産業拠点整備課
3								
4								
5								
6								
7								

■施策を構成する「主な事業」の平成28年度評価結果(平成27年度事業分)

NO.	事業番号	事業名	進捗状況	実施水準	有効性	効率性	今後の方向性	所属名
1	23-101	東部第二土地区画整理推進事業	A	—	A	A	A	新産業拠点整備課
2	23-102	北インター周辺地区まちづくり推進事業	A	—	A	A	A	新産業拠点整備課
3								
4								
5								
6								
7								

↓ 評価 (Check)へ

評 価 (Check)

<p>指標(施策の目標)の達成度評価 〔選択・記入〕</p>	<p><input type="radio"/> 既に達成している(A) <input checked="" type="radio"/> 順調に進捗している(B) <input type="radio"/> 遅れているが達成する見込み(C) <input type="radio"/> 遅れており達成が見込まれない(D)</p>	<p align="center">B</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>「産業系市街化区域の拡大面積」については、平成26年度に達成している。 「新たな産業用地における企業進出の割合」は、東部第二土地区画整理事業地内の企業進出が、100%達成見込みである。</p>
<p>「目標とする状態」に向けた取組手法の有効性 〔選択・記入〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 高い(A) <input type="radio"/> 普通(B) <input type="radio"/> 低い(C)</p>	<p align="center">A</p>	<p>取組による成果</p>	<p>歌川産業スクエアに続く新たな産業用地を創出するため、東部第二地区において、市街化区域編入の取組を進めてきた。平成27年3月には市街化区域の編入を果たし、平成27年度、企業立地に向けた基盤整備工事に着手している。 さらに、北インター周辺地区において、豊かな自然環境や集落環境と調和した新たな産業用地の創出に向けた取組を進めている。</p>
<p>市民意識の反映 〔選択・記入〕</p>	<p><input type="radio"/> 反映している(A) <input checked="" type="radio"/> 概ね反映している(B) <input type="radio"/> 反映できていない(C)</p>	<p align="center">B</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>平成27年度に行った市民意識調査では、重要度が平均点を下回っているが、満足度は平均点を上回っている。 なお、インター周辺地区への企業誘致の要望が意見として寄せられており、本施策の更なる推進が必要であると考えられる。</p>
<p>施策を取り巻く環境変化</p>	<p>市内では、新東名高速道路等広域幹線道路の整備工事が進められている中、さがみ縦貫道路(首都圏中央連絡自動車道)から(仮称)伊勢原北IC区間は平成30(2018)年度に、その先の御殿場ICまでは平成32(2020)年度に開通が予定されている。 東部第二地区や伊勢原北インター周辺地区においては、広域幹線道路の開通による整備効果を適切に受け止めるため、産業振興や地域経済の活性化に寄与する有効な土地利用の推進が求められている。</p>			
<p>施策推進上の課題</p>	<p>新たな産業用地における企業誘致、産業集積を促進するために、神奈川県「さがみロボット産業特区」構想などを活用し、沿線地域や関係機関との連携を図ることが必要である。</p>			

↓ 施策の改善 (Action)へ

施策の方向性 (Action)

<p>今後の方向性の判断</p>	<p>取組の方向性 〔選択〕</p>	<p><input type="radio"/> 拡大して実施 <input checked="" type="radio"/> 継続実施 <input type="radio"/> 縮小して実施 <input type="radio"/> 抜本的見直し</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>伊勢原の豊かな自然や集落環境、農地や河川などの周辺環境と調和を図ったまちづくりを推進し、産業用地の創出による地域の雇用機会の創出と財政基盤の強化を図り、活力のあるまちを実現する。 東部第二土地区画整理推進事業では、新たに創出された産業用地に優良な企業の誘致を進めるとともに、雇用機会の拡充を図る。北インター周辺地区まちづくり推進事業では、(仮称)伊勢原北インターチェンジ開設にあわせ、新たな産業用地の創出に向けた事業の推進を図るため、土地区画整理事業の具体的検討を進める。</p>
	<p>施策の方向性 〔選択〕</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 見直し</p>	<p>左記判断理由</p>	<p>産業振興や地域経済の活性化に寄与するため、広域幹線道路の開通による整備効果を活かし、新たな産業用地を創出する有効な土地利用を推進する。</p>